

別記様式第 1

【記載要領】

消 火 器 試 験 結 果 報 告 書

①実施日 令和 年 月 日

②実施者

住 所

氏 名

用 途		③ 5 項イ（民泊）						構 造		④耐火構造で内装制限したもの その他									
延べ面積		⑤ 200㎡		必要能力単位				⑥ 2		⑦ 緩和対象の消火設備				有 無					
付加設置部分の有無			⑦有（少量危険物・指定可燃物・電気設備・火気使用設備） 無																
階	⑧ 用 途	⑨ 消火器の種別及び個数						⑩能 力 単 位			⑪ 結 果								
		a	b	c	d	e	f	合計	A	B	C	適応性	設置場所等	標 識	機 器				
1	キッチン	1							3	7	○	○	○	○	○				
2	宿泊室	1							3	7	○	○	○	○	○				
2	廊下	1							3	7	○	○	○	○	○				
合 計		3							9	21									

備考

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 aは粉末消火器、bは泡消火器、cは強化液消火器、dは二酸化炭素消火器、eはハロゲン化物消火器及びfは水消火器をいう。また、能力単位C欄は、該当する消火器が設置してある場合に○印で記入すること。

4 付加設置すべき部分がある場合には、各階ごとに、用途の欄にその部分を記入すること。

5 結果の欄には、良否を記入すること。

①試験を実施した日を記入します。

②試験の実施者を記入します。

③「消防法施行令別表第一の項・具体的な用途」を記載します。民泊の場合は、5項イと記入します。

④構造は、空欄で結構です。

⑤延べ面積は、建物全体が５項イ（民泊）となる場合は建物全体の延べ面積を、１６項イ（特定複合用途）となる場合は５項イ（民泊）部分の床面積を記入します。

⑥「必要能力単位」は、「延べ面積÷100」で得られた数値（小数点以下切り上げ）を記入します。

⑦緩和対象の消火設備や付加設置部分の有無は、通常、「有」に該当する部分はありませんので、「無」に○をします。

⑧設置階数と設置する場所の主な用途を記入します。

⑨消火器の種別と設置個数を記載します。「粉末消火器」は“a”の列に、「強化液消火器」は“c”の列に個数を記入します。

⑩能力単位は、消火器本体の表示をご確認ください。

⑪適応性は、消火器がA・B・C火災に対応していれば○を記入します。

設置場所等は、設置された消火器が以下の全てに適合していれば○を記載します。

□各部分が歩行距離20m以下となるように設置されている。通行・避難に支障が無く、使用に際して容易に持ち出すことができる場所に設置されている。

□床の上に置かれているなど、床面からの高さが1.5m以下の高さに設置されている。

□消火器本体に表示された使用温度範囲を超える場所には設置されていない。(例：暖房器具の直近など。)

□屋外廊下など、風雨がかかる場所に設置された消火器は格納箱に収納されている。 標識は、消火器付近の見やすい場所に標識が設置されている。

□機器は、検定の合格証が添付され、変形や損傷がない。

< 合格証 >



＜ 標識の例 ＞

